

所属・氏名（薬学部 薬学科 氏名：佐藤 拓真）

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (学術論文) The inhibition of Bax activation-induced apoptosis by RasGRP2 via R-Ras-PI3K-Akt signaling pathway in the endothelial cells	共著	2019年11月	Scientific Reports	これまでの研究により、血管内皮細胞においてRASGRP2がアポトーシスの抑制に重要であることを見出しているが、そのアポトーシス抑制の詳しい機構は明らかにされていない。そこで、血管内皮細胞におけるRASGRP2の機能を解析した結果、RASGRP2は、R-Ras-AKT経路によりROSを介していないアポトーシスを抑制することを明らかにした。11頁 Jun-ichi Takino, <u>Takuma Sato</u> , Kentaro Nagamine, Takamitsu Hori 共同研究につき本人担当部分抽出不可能
2 (学術論文) RASGRP2 suppresses apoptosis via inhibition of ROS production in vascular endothelial cells 筆頭論文	共著	2019年1月	The Scientific World Journal	本論文では、血管関連遺伝子として同定された <i>rasgrp2</i> の機能を明らかにするために、血管内皮細胞を用いてRASGRP2過剰発現株を作製し、RASGRP2による影響を検討した。その結果、血管内皮細胞においてRASGRP2がRap1を活性化し、さらにROSの生成を抑えてアポトーシスを抑制することを明らかにした。8頁 <u>Takuma Sato</u> , Jun-ichi Takino, Kentaro Nagamine, Kazuto Nishio, Takamitsu Hori 研究全体に従事
3 (報告・発表) 血管内皮細胞におけるRASGRP2によるアポトーシス抑制経路の解析		2019年12月	日本血管生物医学会学術集会	発表内容の概要：RASGRP2のアポトーシス抑制経路にR-Rasが関与しているか検討した。 <u>佐藤 拓真</u> , 瀧野 純一, 長嶺 憲太郎, 堀 隆光
4 (報告・発表) 終末糖化産物による血管障害に対する防御因子の研究		2019年11月	日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会	発表内容の概要：終末糖化産物による血管障害に対してRASGRP2が関与しているか検討した。 沖原 香純, 瀧野 純一, <u>佐藤 拓真</u> , 長嶺 憲太郎, 竹内 正義, 堀 隆光
5 (報告・発表) 肝星細胞の活性化における終末糖化産物(AGEs)の細胞死抑制		2019年3月	日本薬学会	発表内容の概要：肝星細胞の活性化における終末糖化産物の影響について検討した。 瀧野 純一, 長嶺 憲太郎, <u>佐藤 拓真</u> , 竹内 正義, 堀 隆光